

ニューヨーク行動日記 No2



5月3日朝はフリー。50ドルで市内観光が組まれており、先着順で締め切られていました。もとより利用する気などなく、今日から始まるNPT会議の会場国連を訪ねるつもりで、ゆっくり体を休め、国連の開門に間に合うように市内を歩いて向かった。昨日のパレードの道をたどるようにゆっくりと歩いたのにどうも足が痛くて仕様がな。13時間以上の飛行機と、待ち時間の長かったパレードのせいだろうか。やっとたどり着いた国連は圧倒されるようなシンプルな高層ビルでした。

長い列をなす人が道路にまであふれ、

そこには平和な世界を追求する象徴的なモニュメントがありました。銃口をくくられた銃です。早朝から見学者の多さを物語っていました。

厳重な身体検査を経て中に入ると地雷撤去の展示があり、その向こうにめざす原爆の展示がありました。人々の注目を集めており、被爆者団体協議会の坪井理事長に出会いました。

地下に国連グッズ売り場がありますが、メイドインチャイナだったりするので、要注意です。NPT再検討会議の出席者にはお目にかかれませんでした

が、外には報道陣が機材を積み込んだ大型車を並べて待っていました

まだ目の覚めきっていない街を歩いてホテルに帰る道すがら、ロックフェラー広場、ミッドタウン53丁目のMomaグッズ店、など経由してみました。黒人の店員も丁寧な英語で対応していて、ひとところの人種差別も感じられず、街を歩いているだけでも、2日前の爆弾騒ぎはありましたが、全体的に安心感が高まっているように思えました。

すっかり疲れて痛くなった腰と足を休めるために午後の催しは全部をのぞくことはできませんでした。友人から写真を頂きました。

ピースコンサートの行なわれたリバーサイドチャーチは、ステンドグラスの窓が素敵だし、天のように高くそびえる



天井も荘厳で神の音が響いて聞こえてきそうでした。ここは、かつて差別をなくし、平和運動を率いてきたキング牧師、ネルソンマンデラ南アフリカ大統領など、有名な演説を行なった場所でもあります。地元平和運動団体の合唱団とのコラボはここでしか味わえない連帯のハーモニーがありました。



一午後からの公開シンポジウム（代表団会議）では、まず日本原水協の高草木事務局長のNY行動とその成果について報告、NPT議長らの熱き行動のドラマが報告された。続いてエジプト軍縮大使のヒシャムバドルさんは

「私たちは昨日、NPT会議の最終合意文書に核兵器廃絶条約の交渉開始を盛り込むように求める声明を発表。私はパレードを見に行きました。皆さんの活動に勇気づけられた」とのべられました。ジョセフガーソンさんは国際平和会議での国連事務総長の発言を紹介しました。「草の根の力がなければ核兵器の廃絶はなしえない。核兵器条約がないといけない。」と。（以上原水協ニュースより）

—

4日の午前中もフリーでした。市内電車は、8ドルでプリペイドカードが買えます。どこまで乗っても1回2ドル20セント弱。3回乗り降りできるというわけだ。グランドゼロを訪ねた。まだ工事中でしたが、「私たち市民はいつ



までも皆さんをお忘れません忘れません。」と碑が刻まれ、消防団の活躍は、建物の横に名と共に伝えられ、今も献花が絶えないと言います。



いつ完成するのか、まだ建設中の新しい貿易センターは、やがて真新しくなって生まれ変わるでしょう。